

**春** 5月下旬から、尾瀬の代表的な花、ミズバショウが咲き始めると本格的なシーズンになります。

尾瀬の山々も淡い緑に染まる頃、リュウキンカ・サゼンソウ等高山植物が、次々と美しい花を見せてくれます。

5月から6月に咲く花々：ミズバショウ・サゼンソウ・ショウジョウバカマ・ワタスゲ・リュウキンカ・チングルマ・タテヤマリンドウ・シャクナゲ・レンゲツツジ等

**夏** 7月の声を聞くと、尾瀬の春は終り広大な樹木帯は緑を一層濃くし、湿原には待ちくたびれたかのように、いろいろな花が咲きだし、特にニッコウキスゲなどの大群落が咲き競います。

また小鳥、蝶、トンボなど昆虫たちの楽園にもなります。

7月から8月に咲く花々：ニッコウキスゲ・ヒオウギアヤメ・カキツバタ・チングルマ・ワタスゲ・ハクサンチドリ・ヒツジグサ・オゼコウホネ・コバイケイソウ等

**秋** 尾瀬の秋は、意外と早くやってきます。9月下旬からはじまる紅葉には、ナナカマドを始めとして周辺の草木が一斉に紅葉し、深い秋色に染まっていきます。

9月以降に咲く花々：ウメバチソウ・ミズギク・アキノキリンソウ・エゾリンドウ・オゼヌマアザミ等

**冬** 11月中旬には、至仏山など尾瀬の山々は雪化粧を始め尾瀬は冬に入ります。

尾瀬の登山口であるスノーパーク尾瀬戸倉や、ホワイトワールド尾瀬岩峯・かたしな高原・丸沼高原・オグナ・ほたか・武尊牧場・サエラスキーリゾートなど7つのスキー場で雄大なスロープでのスキーが楽しめます。

また、尾瀬戸倉温泉・片品温泉・丸沼温泉・座禅温泉・白根温泉・東小川温泉・鎌田温泉・幡谷温泉・花咲温泉などで温泉浴も楽しめます。

なお、冬期間尾瀬の入山につきましては、自粛してください。

尾瀬憲章

尾瀬は、自然の偉大な恵みによって生まれ自然界の厳しゆくな法則のもとに、すぐれた原始的景観を保ってきた。

高層湿原をいなく美しい自然は、ここに生育する動植物とともにきわめて高い学術的価値を有している。この貴重な尾瀬の自然は、祖先から受け継いだという共有の遺産であって、これを国民の宝として大切に保護し、後世に伝えることは、我々の責務である。

ここに、われわれは、尾瀬の自然の美しさを愛し、そのとうとさをいっそう深く認識し、厳正な保護と秩序ある利用のもとに、国民の願いをこめて尾瀬の自然を守ることを誓う。

- 一、尾瀬を訪れる人は、その自然を愛そう。
  - 一、尾瀬に接する人は、その利用に責任を持とう。
  - 一、尾瀬を尊ぶ人は、その景観を破かいから守ろう。
  - 一、尾瀬に親しむ人は、その豊かな恵みに感謝しよう。
  - 一、尾瀬に誇りを持つ人は、その美しさを後世に伝えよう。
- 尾瀬を後世に伝えることは、県民あがての願いである。

昭和47年5月11日 群馬県

入山にあたって

1.動植物の保護

尾瀬は、自然公園法の特別保護地区に、また、文化財保護法による特別天然記念物に指定されており、枯れ葉1枚、枯れ枝1本でも、捨てることが禁じられています。尾瀬の自然を特徴づける湿原は、非常に弱いので、木道から降りて踏みつける事のないようご注意ください。また、ペット(犬や猫)の持ち込みは、小動物にとっては、脅威であり、病気や寄生虫の伝染の可能性など生態系を壊しかねないので、おやめください。

2.服装

尾瀬ヶ原は標高1,400m、尾瀬沼は1,665m、アヤメ平は1,969mで、平地に比べると気温が8°C~12°Cも低く、天候も変わりやすいので、セーター、ジャンパー、雨具をご用意ください。また、残雪期(6月下旬まで)は、スニーカーでは、危険です。

3.オーバーユース

尾瀬を訪れる人は、年間30万人を超えています。特に、6月上旬のミズバショウ、7月下旬のニッコウキスゲ、10月上旬の紅葉、それら週末に集中しています。この時期は、平日にお越しください。

4.注意していただきたいこと

- 木道は右側通行です。
- 歩行中の喫煙はご遠慮ください。携帯用の灰皿を用意しましょう。
- キャンプの指定地は、山ノ原(至仏山荘)、見晴(燧小屋)の2か所です。それぞれの小屋で許可を取ってください。尚、尾瀬沼キャンプ場は当分の間休止です。
- 至仏山・登ヶ岳については、5月上旬から6月下旬まで、残雪期の植生保護のため入山禁止になりますので、入山の際にはあらかじめお問い合わせ下さい。
- 燧ヶ岳、アヤメ平付近は、6月下旬まで残雪があり、登山道が不明瞭なのでご注意ください。
- 登山の際は「登山者カード」にご記入ください。

























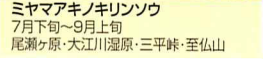
案内所

群馬県東京事務所 ☎(03) 3231-4836 群馬県名古屋事務所 ☎(052) 262-3018  
群馬県大阪事務所 ☎(06) 6341-5303

尾瀬の歴史(木道総延長57km)

日光国立公園の指定	昭和9年12月4日	群馬県自然保護管理センター開設	昭和41年
国立公園内特別地域指定	昭和13年	アヤメ平裸地回復事業開始	昭和41年
木道敷設開始	昭和27年頃より	全国高校総体登山大会会場	昭和44年
特別保護地区の指定	昭和28年12月22日	関東高校登山大会会場	昭和53年
関東高校登山大会会場	昭和32年	あかぎ国体山岳競技大会会場	昭和58年
特別天然記念物の指定	昭和35年6月1日	尾瀬サミット	平成4年8月
全日本登山大会会場	昭和35年	尾瀬山ノ鼻ビジターセンター開設	平成5年
大規模木道敷設開始	昭和39年	尾瀬保護財団設立	平成7年8月3日
環境庁尾瀬沼ビジターセンター開設	昭和40年	ラムサール条約湿地登録	平成17年11月8日

尾瀬に咲く花々  
美しい自然を  
いつまでも

 ミズバショウ 5月中旬~6月中旬 尾瀬ヶ原・大江川湿原・沼尻平などの湿原	 リュウキンカ 5月中旬~6月下旬 尾瀬ヶ原・大江川湿原・沼尻平などの湿原	 ショウジョウバカマ 5月下旬~6月下旬 尾瀬ヶ原・大江川湿原・沼尻平などの湿原	 サゼンソウ 5月中旬~6月下旬 尾瀬ヶ原・大江川湿原・沼尻平などの湿原	 ワタスゲ(実) 5月中旬~6月下旬 尾瀬ヶ原・大江川湿原・沼尻平などの湿原	 レンゲツツジ 6月中旬~7月中旬 尾瀬沼・尾瀬ヶ原などの湿原
 マイツルソウ 6月上旬~7月上旬 尾瀬ヶ原林道など森の中	 タテヤマリンドウ 5月下旬~7月上旬 尾瀬ヶ原・大江川湿原・沼尻平などの湿原	 コバイケイソウ 6月下旬~7月下旬 尾瀬ヶ原・尾瀬沼周辺の湿原	 ヒメシャクナゲ 6月中旬~7月下旬 尾瀬ヶ原・大江川湿原・沼尻平などの湿原	 カキツバタ 6月下旬~7月下旬 山ノ鼻・尾瀬ヶ原・尾瀬沼周辺	 ミツガシウ 6月上旬~7月下旬 尾瀬ヶ原・大江川湿原・沼尻平などの湿原
 コイワカガミ 6月下旬~7月中旬 尾瀬ヶ原・大江川湿原・沼尻平などの湿原	 チングルマ 6月下旬~7月下旬 尾瀬ヶ原・アヤメ平・至仏山	 ハクサンチドリ 6月下旬~7月下旬 尾瀬ヶ原	 ゴゼンタチバナ 7月上旬~8月下旬 尾瀬ヶ原・尾瀬沼の湿原のまわりと湧水林の中	 モウゼンコゴエ 7月上旬~8月中旬 尾瀬ヶ原・沼尻・アヤメ平・重兵衛池・尾瀬沼周辺	 オゼコウホネ 7月中旬~8月中旬 尾瀬ヶ原池地
 キンコウカ 7月中旬~8月上旬 尾瀬ヶ原・尾瀬沼周辺・アヤメ平・至仏山	 ミヤマアキノキリンソウ 7月下旬~9月上旬 尾瀬ヶ原・大江川湿原・三平峠・至仏山	 オゼソウ 7月下旬~8月中旬 至仏山	 オゼミズギク 7月下旬~8月下旬 尾瀬ヶ原・尾瀬沼周辺の湿原	 オクトリカブト 8月上旬~9月下旬 尾瀬ヶ原・山ノ鼻	 ホンゾバノウススキソウ 7月中旬~8月中旬 至仏山
 ヒツジグサ 7月上旬~8月下旬 尾瀬ヶ原池地・尾瀬沼					